

広報 a public relations magazine

あぐい



阿久比町
マスコットキャラクター **アグビー**

1 January
1月1日号

暮らしの情報誌

2013

No. 1069

毎月1日・15日発行

- 主な内容
- ②～③ 新年のごあいさつ
阿久比町長と阿久比町議会議長から新年のごあいさつです。
 - ④ 新成人に聞く
成人式を前に実行委員会の新成人に聞きました。
 - ⑦ 60周年記念事業ロゴマーク募集
町制施行60周年のさまざまな記念事業に共通で使用するロゴマークを募集します。
 - ⑧～⑨ 2012年まちの出来事
阿久比町の1年間を振り返ります。

謹賀新年



町村の部3位入賞

第7回愛知駅伝が12月1日に愛・地球博記念公園で開催され、阿久比町チームが町村の部で第3位を勝ち取りました。さらに、前年度大会から順位を二つ上げて「モリコロ賞」の第1位にも輝きました。5ページの記事もご覧ください。

新年のごあいさつ

一陽来復

啓 二 啓



阿久比町長

年内 啓 二

新年明けましておめでとござい
ます。皆さまにおかれましては、明
るく希望に満ちたすがすがしい新年
を、お迎えのこととお喜び申し上げ
ます。

町制施行六十周年

昭和二十八年一月一日に「阿久比
町」が誕生し、今年の元日をもって
町制施行六十周年を迎えました。阿
久比町にとって記念すべき意義深い
年の初めとなりました。

先人の方々の努力によって築かれ
たものが町の文化となり受け継がれ、
私たちの日常生活の中に溶け込み、
今日の礎となり発展してきたものと

思います。ここに多くの町民の皆さ
まに深く感謝と敬意を表すとともに
心よりお祝い申し上げます。

昭和二十八年当時の人口は一万三
千三百七十四人で、平成二十四年十
二月一日現在の人口二万六千八百九
十二人の半分にも満たない状況でし
た。この間に知多半島は愛知用水の
通水、三河と知多を結ぶ衣浦大橋の
完成、知多半島道路など道路網の整
備、新日鉄をはじめとする大手企業
の進出、国際空港セントレアの開港
など、全国に誇れる半島に成長して
きました。阿久比町も時代の変化に
対応しながら企業誘致、団地開発な
どを進め発展してきましたが、六十

周年を迎えた今、新たな発展の時期
を迎えたものと思います。

県下市町村の一昨年における人口
増加率第一位が示すように、本町は
人口増加が進んでいます。人口の増
加は、町に活力を与え人に『希望』
を与えます。多くの価値観や知恵を
持ち寄り、自らの町をより住みよい
ものへと汗を流して造り上げてゆく
ことができます。陽なたの丘などに
新しい住民を迎え入れ、今本町は活
力がみなぎっています。「一陽来福
(復)の春」を迎えたといえるので
はないでしょうか。

今年には町制施行六十周年記念の年
として、多くの記念事業を住民の皆
さまと一緒に開催します。そのため
の記念事業検討委員会を設け、多く
の提案をいただきました。今後、内
容を精査し予算化できるものに対し
ては事業化をし、お祝いの周年事業
を行っていきたくと思っています。

町民のがんばり

「愛知駅伝で三位入賞を達成」

昨年十二月に行われた愛知県市町
村対抗駅伝競走大会(略称「愛知駅
伝」)において、苦節七年目にして念
願の三位入賞を果たすことができました。

この駅伝は、年齢男女別の各区分
があり、すべての世代に力がないと
勝ち取れない競技です。町民代表と
して多くの選手が、この七年間に参
加し挑戦していただきました。監督
はじめ多くの方がサポートしていた

だいたおかげで勝ち得た入賞に感動
しました。

私は、六十周年を前にしての快挙
に幸先の良さを感じるとともに、
ゴールした選手の一人から「念願の
三位入賞は果たしたが、これで終
わったわけではない。頂点を目指し
たい」との力強いあいさつを耳にし
たときに、心から嬉しく思いました。
町を愛する若者が入賞の喜びや祝
いに酔いしれることなく、新たな目標
を毅然と言い切ったことに感動を覚
えたのです。次世代が確実に育つて
きていることに喜びを感じました。

こうした住民の皆さまの頑張り
は、各種ボランティア活動や文化サークル
活動など多くのところで実を結び
つつあります。今年度から実施する
「住民税1%町民予算事業」では、
住民発信によるアイデア、「コラボ」
各事業への予算執行とともに、具
体的な活動が始まっていきます。

今以上に住民と行政が一緒になっ
て町づくりを進める「協働」のシス
テムの始動です。役員職員一同も頑
張ってまいりますので、住民の皆さ
まも頑張ってくださいと思います。
これからの「まちづくり」は、住民
同士の繋がりと、住民と行政との繋
がりの「二つの絆」が大切だと思っ
ています。

自然と調和した快適空間としての
阿久比町を、一緒になって創造して
いきましょう。

今年も皆さまが健康でお幸せにお
暮らしてきますようお祈りいたしま
して新年のあいさついたします。

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとござい
ます。
平成二十五年度の輝かしい新春を迎え、謹んで皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。皆さまには、平素より町議会の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年のロンドンオリンピック、パ
ラリンピックでの日本選手団の素晴
らしい活躍に、多いに感動し、我々
が失いかけた勇氣と希望が呼び起こ
されました。地元愛知にゆかりのあ
る女子レスリング吉田沙保里選手の
金メダル獲得の喜びは、国民栄誉賞
の受賞という快挙につながっていき



前へ

阿久比町議会議長 勝山 制

秋には、京都大学の山中伸弥教授
が五十歳という若さでノーベル医学
生理学賞の受賞という画期的な
ニュースに沸き返りました。「まだま
だ日本は捨てたものではない」と
思ったのは私だけではないでしょう。
喜ばしい昨年のニュースの一方、
新年早々、恐縮に存じる次第であり
ますが、皆さまもご承知のように、
日本の現状は難題が山積みしており、
憂えるばかりです。
未曾有の災害をもたらした東日本
大震災から二年の歳月が過ぎようと
しておりますが、原発の問題も含め、
完全復興にはほど遠く、困難な道の

りが続いております。
昨年は「絆」という合い言葉に震
災からの復興に国民が一致団結し、
懸命な努力をしておりますが、立ち
はたかる壁があまりに高く、国民も
いささか疲弊しております。
経済状況も、円高などに伴い、輸
出産業が打撃を受け、日本ブランド
も憂き目にあっており、長引く不況
のため、若者たちの就職難も一向に
解消されておりません。日本の未来
を託す若者たちが夢と希望を失わず、
自分の能力を最大限に生かせる職業
に就くことが、日本の再生に不可欠
だと考えています。
近隣諸国との領土問題も憂慮すべ
き事態にあります。誇りある日本国
民として、毅然とした主張をしつつ
も、近隣諸国と良好な経済や文化な
どの交流を図らなくてはならないと
いう難しい舵取りを行わなければな
りません。
その他にもTPP問題、エネル
ギー問題などの積み残した課題が存
在します。
極めて混沌とした状況の中、昨年
十一月の電撃的な解散、師走の衆議
院議員総選挙により、新たな政権が
発足しました。新たな政権は、克服
すべき問題を先送りすることなく、
日本再生に向けて力強いリーダー
シップを発揮されることを願います。
地方においては「国と地方の協議
の場」が設定され、「地域主権」へと
改革が進行しています。「社会保障と
税の一体改革」が進む中、社会保障
サービスを担っている自治体がその

役割を十分果たさなくてはなりません。
地方が将来に向け、明るい展望
を拓いていくためには、国と地方が
それぞれ力を出し合い、支え合っ
ていくことが肝要だと考えます。
さて、そのような状況の中、みど
り豊かな住環境、優れた利便性を併
せ持つ町として発展を遂げてきた阿
久比町は本年、町制施行六十周年の
節目の年を迎えました。還暦を迎え
成熟した町であるとともに、今後も
住民に一番身近な行政としての充実
を図り、「阿久比でよかった」と住民
が実感できる町づくりのため、前進
しなくてはなりません。
町議会といたしましても、常に住
民皆さまと同じ視線に立ち、皆さま
の真の幸せを求めするため、執行機関
の町と力を合わせ、努力する所存で
あります。戦後最大の困難と形容さ
れている日本の現状であります。が、
英知を結集し、前を見つめ、力強く
前へ、前へ。そして、もう一度豊か
な日本に再生しようではありません
か。
最後に、町民の皆さまのご多幸を
お祈り申し上げ、新年のあいさつと
いたします。



大きな節目となる成人式に向けて

〜新成人に聞きました〜

一月十三日に成人式が勤労福祉センター（エスペランス丸山）で開かれます。

成人式、新成人の集いを盛り上げるために集まった実行委員会のメンバーに、打ち合わせ会議の場で、思いを聞きました。



実行委員会メンバー

「来て良かったと思えるような式にしたい」

「二十歳を迎え、大人といわれる歳になった心境は

「実感がない」

「まだ子ども」

「二十歳を迎えたからといって、そんな突然変化したことはない」

「以前よりは将来のことを具体的に考えるようになった」

「二分の一成人式を行ったのは十歳でした。二十歳になるまでの十年間はどうか」

「十歳のときは成人した自分を想像できなかったが、十年間は早かった」

「小学生、中学生、高校生、大学生と立場がいろいろと変わり、出会いと別れの多い十年だった」

「先生や親などに『やらされている』ことよりも、自分で考えて決めることが多くなった」

「十年後の三十歳には、どんな感じ

になっていると思いますか

「学校の先生。自分は嫌いな教科が

新成人が生まれたときの出来事

平成4年4月	ユーロディズニーランド（現名称ディズニーランドパリ）が開園
	歌手の尾崎豊さんが死去
7月	山形新幹線が開業
	バルセロナ夏季五輪開催
9月	毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙へ
	毎月第2土曜日を休業日とする月1回の学校週5日制がスタート
平成5年1月	ビル・クリントンがアメリカ合衆国大統領に就任
	大相撲の曙が外国人として初めて横綱に昇進

あったが、そんな嫌いな教科でも好きになるようにしたい」

「保育士になって働いていたい」

「結婚して『お母さん』になりたい」

「管理栄養士。今はまた言われたことをこなしているだけだけど、十年後には仕事を任せてもらえるようにしっかりと落ち着きある大人になりたい」

今年成人式を迎えるのは、平成四年四月二日から平成五年四月一日までに生まれた皆さんです。阿久比町では、二百四十四人が対象になります。

実行委員会のメンバーは、十一月から準備を進め、訪れた皆さんが楽しいひとときを過ごせるためにと、何度も打ち合わせを重ねてきました。今回話を聞かせてくれたメンバーは、学生ばかりだったこともあり、二十歳を迎えても、大人のイメージが漠然としている印象でした。ただ、二十歳を迎えて、いきなり大人の自覚や責任が出てくるものでもないと思います。既に社会人となっている人でも、まだまだ子ども扱いを受けることも多いことでしょう。

実行委員長の関拓哉さんは「同窓会のように楽しめる会としたい」と語る一方で「成人式は大きな節目。ただ楽しいだけではなく、大人としての自覚を持って思い出に残る式にしたい」とも語ってくれました。



会議の様子

町の未来を担う新成人が多く参加し、盛り上がる式になることを期待します。

3位入賞おめでとう



愛知万博メモリアル第七回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）が十二月一日、長久手市の愛・地球博記念公園で開かれました。阿久比町チームは、町村の部で見事第三位となりました。

愛知県内の五十四市町村が参加して公園内の周回コース九区間二九・四キロメートルで行われた第七回大会。市と町村の部に分かれて、小学生から大人まで各年代で選ばれた男女混成九人の選手たちがタスキをつなぎ健脚を競い合いました。

十六チームが参加した町村の部で、阿久比町は順位を昨年より二つ上げ、第三位でゴール。五年連続入賞達成を素晴らしい成績で果たしました。さらに、昨年に比べ順位が上昇したチームに贈られるモリコロ賞の一位も獲得しました。

区間二位となる走りでも順位を押し上げた第七区の谷口由香さんは「選手一人一人が全力でタスキをつないだ結果だと思えます。念願の三位入賞とてもうれしいです」と喜びを語ってくれました。

鈴鹿敦監督は「監督五年目ですが、やく目標の三位入賞できました。選手の手頑張りや町民の皆さんの応援のおかげです。これからも、継続は力なり」で頑張っていきたいと思えます」と感謝の気持ちと今後の意気込みを語りました。

詳しい大会結果は、ホームページ（<http://tokai-tv.com/ekiden12/>）で確認できます。

サポートの方たちを含めた阿久比町チームの皆さん、おめでとうございます。そしてお疲れさまでした。



オアシススケッチ

～まちの話題～

● 交流大会駅伝で親睦を図る



第22回阿久比町スポーツ少年団交流大会が12月2日、スポーツ村陸上競技場でありました。7団体22チームが参加して行われた駅伝で子どもたちは、タスキをつなぎゴール目指して競技場と周辺道路を駆け抜けました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【低学年の部】優勝 A.F.C.AGUI-A ▽準優勝

白沢ペアーズ▽第3位 ILEX

【高学年の部】優勝 A.F.C.AGUI-D ▽準優勝

ILEX-B ▽第3位 A.F.C.AGUI-B

● 寒空の下で元気に啓発活動



年末の交通安全県民運動期間初日の12月1日、オアシス大橋東信号交差点で、宮津団地交通少年団、交通安全協会半田支部阿久比分会、いきいきクラブ連合会、半田警察署署員などが参加して交通安全キャンペーンを実施しました。

震える寒さにも負けず交通少年団の子どもたちは、赤信号で止まっている車の運転手などに向け「シートベルトを締めて安全運転をお願いします」と積極的に呼び掛け、啓発物品を配っていました。

● グラウンドゴルフで“いきいき”



町いきいきクラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が11月28日、スポーツ村野球場で開催されました。町内クラブ会員254人が参加し、プレーを通して交流を深めました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【赤ゾーン男子】優勝 伏見孝雄▽準優勝 畠田滋矩

【赤ゾーン女子】優勝 佐々木エミ▽準優勝 竹内展代

【青ゾーン男子】優勝 三留享▽準優勝 宮岡日出勝

【青ゾーン女子】優勝 角谷央子▽準優勝 稲葉康江

【総合優勝】角谷央子

● 交通事故に遭わないため安全教室を開催



高齢者を対象にした交通安全教室が12月4日、草木公民館でありました。半田警察署交通課署員、愛知県交通安全教育チーム「あゆみ」、町交通指導員の皆さんが講師を務め、交通安全講話などを行いました。

交通ルールに関するゲームを行ったり、楽しい解説で反射材の使い方について学んだりした講話の後に、草木高砂会会長の竹内敏博さんが交通安全宣言文を読み上げ、参加者全員で「交通事故のない明るく住みよいまち」を目指すことを宣言しました。

● 税金について楽しく学ぶ



半田法人会青年部の新美尚史さん(植大)が12月3日、英比小学校で6年生を対象に租税教室を開きました。99人の児童は、新美さんが出題する税金に関するクイズに挑戦。国によっては救急車の利用が有料と知って、驚きの声を上げていました。子どもたちはその後、税金がない世界を描いたアニメDVDを見て、税金がどのように使われているかを学びました。

講師を務めた新美さんは「税金に興味を持ってもらうきっかけになればうれしい」と感想を語りました。

● 電照菊の栽培技術を競う



花の付き具合や育成状況など電照菊の栽培技術を審査する「電照菊ほ場共進会」が12月5日に開かれました。栽培農家で作る阿久比花き組合の主催で、県知多農林水産事務所やあいち知多農業協同組合の職員など5人の審査員が、13カ所の栽培場を回りました。主な受賞者は次のとおりです。(敬称略)

愛知県知事賞 竹内雅人▽阿久比町長賞 田中伴光▽阿久比町議会議長賞 田中快計▽阿久比町農業委員会賞 竹内誠敏

阿久比町制60周年記念事業共通ロゴマークを募集

昭和28年1月1日(1953年)に誕生した阿久比町は、平成25年(2013年)に町制施行60周年の節目を迎えます。これを記念して実施するさまざまな事業の展開に当たり、広く町内外にPRするため、記念事業共通のロゴマークを募集します。

60周年記念事業テーマは『^{きらめ}煌く未来へつなぐ阿久比の心』です。

町のマスコットキャラクター「アグピー」(右図)を用いるとともに、「阿久比町」および「60」といった文字などを使用して町制60周年を印象付けるロゴマークをデザインしてください。

採用作品の応募者には、1万円分の図書カードを贈ります。

どなたでも応募できます。ご応募お待ちしております。

□募集期間 1月4日(金)～2月7日(木)【必着】

□応募方法

応募用紙に必要事項を記入して、窓口へ直接提出、郵送、町ホームページ (<http://www.town.agui.lg.jp/ka/60logomark.html>) の各方法で応募してください。応募用紙はホームページからダウンロードできるとともに、役場政策協働課の窓口でも配布しています。

作品提出は、電子データ(GIF形式またはJPEG形式)でお願いします。持参、郵送の場合は、CDなどの記録媒体に保存したものを提出してください。ホームページから応募の場合は、応募フォーム(外部リンク)に電子データ(総データ容量3MB以下)を添付してください。

□注意事項

- ・作品は、自作かつ未公表の作品に限ります。応募作品は返却しません。
- ・採用されたデザインに関して若干の修正をする場合があります。
- ・採用、不採用を問わず著作権など一切の権利は、町に帰属します。

□応募・問い合わせ先 政策協働課企画政策係 ☎(48)1111 (内303)

〒470-2292 知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50番地

阿久比町マスコット
キャラクター
アグピー



「アグピー号」ポケット時刻表を作成しました

循環バス(愛称「アグピー号」)の主要駅前発のポケット時刻表を作成しました。

切り取ってご活用ください。

ブルーラインとオレンジラインで阿久比駅前発の発車時間が異なる便があります。

ご注意ください。

□問い合わせ先

防災交通課交通係 ☎(48)1111 (内277)

アグピー号 阿久比駅前発 時刻表

1号車 ブルーライン 宮津団地、東ヶ丘、板山公民館 方面
9:25
10:50
13:45
15:15
16:45
※18:30

※ 東ヶ丘、板山公民館經由坂部駅前 止まり
平成24年10月1日改正

アグピー号 阿久比駅前発 時刻表

1号車 ブルーライン アビタ、大野崎、南部小学校 方面
8:50
10:20
11:45
13:10
14:40
16:10
17:50

平成24年10月1日改正
きりとりせん

アグピー号 阿久比駅前発 時刻表

2号車 オレンジライン スポーツ村、草木公民館、浅井外科 方面
9:25
10:55
13:45
15:15
16:50
※18:30

※ 草木公民館 止まり
平成24年10月1日改正

アグピー号 阿久比駅前発 時刻表

2号車 オレンジライン 阿久比団地、竹内整形外科・内科 方面
8:55
10:20
11:45
13:10
14:40
16:15
17:50

平成24年10月1日改正
きりとりせん

アグピー号 坂部駅前発 時刻表

1号車 ブルーライン 東ヶ丘、板山公民館 方面
9:36
11:01
13:56
15:26
16:56
※18:41

※ 東ヶ丘、板山公民館經由坂部駅前 止まり
平成24年10月1日改正

アグピー号 坂部駅前発 時刻表

1号車 ブルーライン ふれあいの森、阿久比駅前 方面
8:28
9:58
11:23
14:18
15:48
17:18

平成24年10月1日改正
きりとりせん

まちの出来事



新保育園建設開始
8月7日



「阿久比谷虫供養」
9月22日



「循環バス命名式」
10月1日



「第64回町民体育祭レクリエーション大会」
10月7日



「第33回みんなの菊花展」
10月30日～11月4日



「第7回愛知駅伝で町村の部3位入賞」
12月1日

7月	
1日	社会を明るくする運動大会・青少年健全育成推進大会
14日	町立図書館で「おたのしみ会」
21日	ふれあいの森で「野外音楽会」
24日	小学生海外派遣事業でシンガポールへ児童10人を派遣（～29日）
8月	
	「安否確認フラッグ」「救急医療情報キット」を全世帯に配布
	阿久比中学校軟式野球部が県大会優勝、全国大会出場
2日	事業仕分け一般公開
7日	新保育園「英比保育園」起工式
14日	中学生海外家庭生活体験事業でカナダへ生徒10人を派遣（～23日）
16日	あぐいふれあい盆踊りの夕べ
26日	町内一斉防災訓練
9月	
3日	中学校の普通教室にエアコン設置
7日	「寝る子は育つ」復活計画第1回講演会
9日	敬老会
15日	「住民税1%町民予算枠」公開ヒアリング審査
22日	阿久比谷虫供養（福住地区）
26日	ダイヤモンド婚者・金婚者お祝いの会
10月	
1日	循環バス命名式 愛称「アグビー号」に決定
7日	第64回町民体育祭レクリエーション大会
21日	ゴミゼロ運動
23日	親子ふれあい読書キャンペーン（～11月17日）
26日	あぐい教育週間（～11月12日）
27日	第27回町民講座（山田隆夫さん）
30日	第33回みんなの菊花展（～11月4日）
11月	
2日	「寝る子は育つ」復活計画第2回講演会
3日	文化の日式典・文化協会式典
3日	8020運動表彰
4日	第25回健康まつり
10日	第61回文化祭（～11日）
17日	第35回産業まつり（～18日）
19日	幼保小中高一斉あいさつ運動（～22日）
26日	防災ラジオ販売申し込み開始
12月	
1日	第7回愛知駅伝で阿久比町チーム町村の部3位入賞、モリコロ賞1位を獲得
9日	人権教育推進事業講演会（露の団四郎さん）
16日	衆議院議員総選挙

阿久比町の 1年間を 振り返る

2012年

1月	
5日	第17回書初め大会
8日	消防出初式
8日	第26回凧あげ大会
9日	成人式
22日	第34回健康づくりマラソン大会
2月	
4日	大凧展示会（～17日）
21日	町内4小学校の児童が2分の1成人式
3月	
1日	標高マップを全世帯に配布
11日	消防団観閲式
18日	「第3回ロープジャンプ小学生No.1決定戦」決勝大会に英比小学校「英比ドリームフライツ」チームが出場
4月	
1日	消防団入退団式
1日	あぐい桜まつり
8日	毎月第2、第3日曜日にスポーツ村陸上競技場の一般無料開放を開始
19日	ほたるの幼虫観察会（～20日）
29日	春だ！れんげだ！農業まつり（第18回農業まつり）
5月	
7日	未来づくり説明懇談会（～28日 町内7カ所）
12日	生涯学習フェスティバル2012（～13日）
17日	スポーツ村で小学校陸上競技大会
19日	新庁舎建設の設計業者を選定
20日	萩大山車建造100周年記念東部地区山車まつり
23日	安全安心町民大会
27日	ゴミゼロ運動
6月	
9日	花かつみ園一般公開（～24日）
9日	ほたるポスター作品展（～24日）
10日	梅まつり
20日	「ホテルと一緒に自然を守らナイト」（～7月10日）を実施
21日	幼保小中高一斉あいさつ運動（～27日）
22日	ほたる観察会（～23日）
24日	第35回消防団消防操法大会
27日	ホテル生息分布調査（～7月6日）



「書初め大会」
1月5日



「成人式」
1月9日



「健康づくりマラソン大会」
1月22日



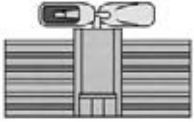
「2分の1成人式」
2月21日



「東部地区山車まつり」
5月20日



「花かつみ園一般公開」
6月9日～24日



行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

防災ラジオを 1台1,500円で販売中です

お詫び

前号の紙面で申込期間と販売期間を分けて案内しましたが、申し込みと同時に販売をさせていただくことにしました。

購入希望の方は、印鑑、代金を持参して防災交通課窓口までお越しください。(土曜日、日曜日、祝日、年末年始休業日は除きます。)

法人、事業所も購入することができます。

台数に限りがありますので、品切れとなる場合もあります。

防災への意識改革

197

安全で住みよいまちづくり
ニュース

防災交通課
☎(48)1111
(内208)

緊急時に情報入手の
手段として活用してください

表面



裏面



□大きさ 192mm×116mm×68mm (幅/高さ/奥行)

□重さ 約750g (電池含む)

□防災ラジオの主な機能・装備

- ・ AM、FMのラジオ放送を聞いているときでも、防災行政無線の放送を自動受信
- ・ LEDライト装備で懐中電灯としても使用可能
- ・ ACアダプターと乾電池(単3電池4本)の2通りの電源に対応
- ・ 手巻き充電機能付きで携帯電話にも充電可能(一部機種には対応していません。)

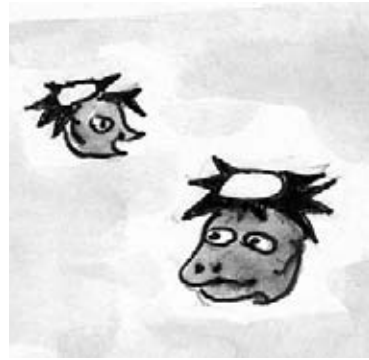
防災行政無線は、役場から発信しているため、鉄筋コンクリート製の建物や気密性の高い住宅だったり、役場方向が山や建物で遮られていたりすると、電波を受信しにくい場合があります。

ラジオとは別に、室内アンテナを1,000円で販売しています。

□申し込み・問い合わせ先 防災交通課防災係 ☎(48)1111 (内208)

みんなの童話

兄弟カッパ



人里はなれた山の沼に、太郎と次郎といういたずら好きの、兄弟カッパがおりました。里に下りて畑の作物を荒らしたり、人をおどろかせて楽しんでいました。

「今日はシリぬぎにいくぞ。おれは人間のシリをぬくから、次郎は馬のシリをぬけ。どちらがおもしろくぬいてくるか競争だ」

兄の提案で、兄弟カッパはそれぞれに里へ下りて行きました。

太郎は、わらで体をかくして里の中を回りました。カッパは妖怪(ようかい)だ、と思っている人間に見つかれば何をされるかわからない。だから危険の少ない馬の方を弟にさせたのでした。

「すもうを取る者はいないかあ、おれとすもうとらなないか!」

太郎は声をかけて回りました。すもうの好きな者もいました。

三、四人の男がいどんできました。でも太郎にはかありませんでした。最後に里一番の力じまんの男との勝負でした。

ようーし、こいつを投げたおしてシリをぬいてやるぞ、太郎はそう思って取っ組みました。

ところが、男のばか力にはかありませんでした。どうしてだあ、力がでない。逃げなきゃ投げころされちまうと、けんめいにもがきました。男は太郎のうでをつかんだままはなしません。

もうだめだ、そう思った時すると体がぬけました。助かった!太郎は後も見ずに逃げました。

「おーい忘れ物だあ、カッパ!」男が呼んだが太郎はむちゅうで走りました。カッパと呼んだ声だけが耳に残っていました。

沼に着いた時、「ふへえ!」、太郎はびっくりきょうてん、ひっくり返りました。うでがぬけてなくなっていたのです。

弟の次郎は、途中の畑で好物のキュウリを腹いっぱい食い散らして、遊びながら歩きました。

里道に出た時、馬を引いた百姓の来るのが見えました。

しめたあ、あの馬のシリをぬいてやれ、と近づいて来た馬のしっぽにしがみつきました。

百姓はそんなことには気がつかずに家に着きました。ようし、ぬいてやるぞ、そう思って次郎がしっぽをはなした時、

「おーい! カッパだあ!」しまったあ、と思ったがおそかった。かけつけた男たちに取っつかまり、馬小屋の柱にしばらくつけられてしまいました。

神通力さえ使えれや...、でも頭のさらに水がなければ神通力は通じません。次郎は遊びすぎて水をからしたことをくやみました。

今ごろどうしてるだろうか...、身動きもできない次郎でしたが、太郎のことが案じられました。

水、みずー、みずがほしーい、次郎はこれほど水がほしい、と思ったことはありません。

「お、これがカッパか。でもしよげかえってかわいそうに!」馬にカイバをやりに来たおかみさんでした。

「水が飲みたいだろ、やるかな」と、バケツの水を次郎の頭にかけました。かわきぎっていたさらに

水が貯まりました。ぐくーつ、次郎に神通力がわきました。柱を引っこぬき、馬小屋をおしつぶし、おかみさんをつきとばして山へはしりました。

その夜、太郎と次郎は話し合いました。昼間のことが気になりました。心が痛んだからです。

太郎は、「里の男たちはカッパと知っていても、すもうを取ってくれた。少しもこわがっていないかった」と、弟に話しました。

次郎は、「親切に水をくれたおかみさんをつきとばし、馬小屋をおしつぶして逃げて来た。しばらくたのも、馬のシリをぬこうとしたからだ」と、兄に話しました。

人間にきらわれたり、こわがられるのは、悪さをしたり、神通力で困らせているからだ。太郎と次郎はそう思いました。

「あした、あやまりに行こう」次郎は、川魚をおみやげに、太郎は、両うでを返してもらいに。

兄弟カッパは、もう神通力などいらぬ、里人にも仲良くしてもらえぬカッパになるんだ。と、星空を見上げてちかいました。夜は静かにふけていきました。

新年おめでとつごさいます

寺沢正美

海外での体験を各校で伝達

～小学生海外派遣事業・中学生海外家庭生活体験事業～

小学生の海外派遣事業と中学生の海外家庭生活体験事業について、町全体の報告会は9月20日に行い、その様子は11月1日号でお知らせしました。今回は、各小中学校で児童生徒たちに向けて行われた報告会について紹介します。



<東部小学校>

10月18日(木)の児童集会で、派遣児童2人が全校児童の前で報告を行い、シンガポールと日本の文化の違いについて発表しました。2人に共通する思い出は、ホームステイ先の家族との交流でした。言葉も十分伝えることができず、短い期間であったにもかかわらず、心を通わす

ことができましたようです。児童たちは、真剣に耳を傾けていました。

<英比小学校>

9月10日(月)の朝会で、派遣児童3人による報告会を行いました。事前学習の様子、シンガポールでお世話になったフェンシャン小学校のこと、シンガポールの市内観光などについて報告しました。3人は緊張しながらも、シンガポールで学んだことを一生懸命に全校児童に伝えることができました。



全校児童が、シンガポールについて興味・関心を持つ、良い機会となりました。



<草木小学校>

11月10日(土)の学習発表会で、派遣児童2人の体験発表が行われました。フェンシャン小学校は、全校児童数がとても多いため授業が2部制になっていることや、学力別に学級編成されていることが報告されました。日本とは教育事情がずいぶん違うことに、児童や参観の保護者も驚いていました。フェンシャン小学校での交流の様子がスクリーンに映し出されたときには、興味深そうに見入っていました。

<南部小学校>

11月9日(金)の2時間目に開催した「南部あきまつり」の中で、派遣児童3人がシンガポールで学んだことを発表しました。学校の様子や生活習慣の違いについて、映像を使った分かりやすい説明で、全校児童は熱心に聞くことができました。

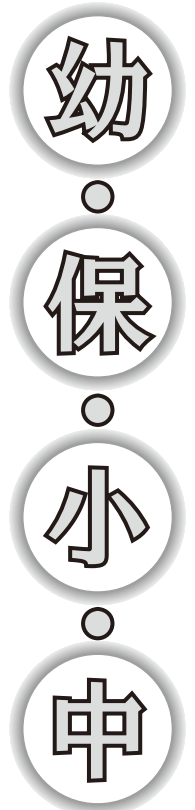


<阿久比中学校>

10月19日(金)の桜輝祭文化の部で、派遣生徒10人が、カナダでの体験を全校生徒に向けて発表しました。15歳が現地で感じたカナダと日本の違い、カナダのすばらしさ、そして現地で過ごしたからこそ気づくことができた日本のよさについて、スライドを交えて発表しました。スライドを見て、カナダの生活を想像しながら、生徒たちは聞いていました。

全国へ発信 128

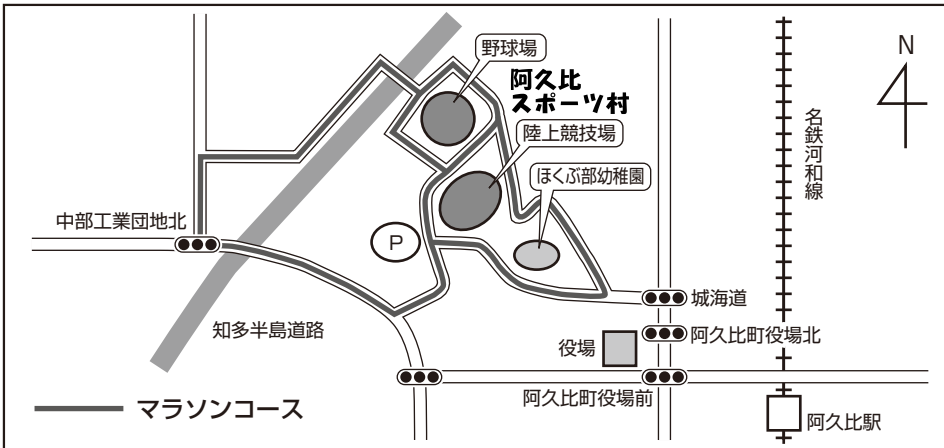
一貫教育プロジェクト



「第35回阿久比町健康づくりマラソン大会」 コース周辺道路の通行について

マラソン大会の開催に当たり、坂部・卯之山地区の方には特にご迷惑をおかけします。参加者の安全確保のため、開催時間帯は周辺道路への自動車の通行を控えるなどご協力をお願いします。

- 開催日 1月20日(日)
- 開催時間 午前9時30分～午前11時30分
- 場 所 阿久比スポーツ村陸上競技場周辺道路（マラソンコースの通行、駐車場への出入りについては、警察官、係員の指示に従ってください。）
- 会場周辺図



※ 駐車場に限りがありますので、車で来場される大会参加者は、乗り合わせでお越しください。

住宅・土地統計調査の標語募集

平成二十五年十月一日を調査日とする住宅・土地統計調査の実施に当たり、総務省統計局では、調査の意義や重要性への理解を深めていただき、全ての人の理解と協力の下に調

- 賞 (表彰状、記念品)
- 賞が正確かつ円滑に行われるように、標語（キヤッチコピー）を募集します。入選作品はテレビ、新聞、ラジオなどのさまざまな媒体を通じて、広く活用する予定です。
- 応募は一人一作品とし、自作で未発表のものに限りません。

マラソン大会開催日の「アグピー号」について

1月20日(日)に「阿久比町健康づくりマラソン大会」が、阿久比スポーツ村周辺で開催されます。大会の進行状況によっては、午前中の循環バス「アグピー号」の2号車（オレンジライン）に遅れが予想されますので、ご注意ください。



接続する午前中の1号車（ブルーライン）も遅れが発生する場合や、ブルーライン、オレンジライン相互の乗り継ぎができない場合もあります。ご了承ください。

運行状況の問い合わせ先は、大興タクシーバス事業部知多営業所（☎0562(57)1870）です。

【遅れが予想されるオレンジラインの便と区間】

202便	児童館北(午前9時29分発)→阿久比駅前(午前10時10分着)の区間
203便	児童館北(午前10時59分発)→阿久比駅前(午前11時40分着)の区間
252便	阿久比駅前(午前10時20分発)→阿久比駅前(午前10時45分着)の全区間
253便	阿久比駅前(午前11時45分発)→阿久比駅前(午後0時10分着)の全区間

□問い合わせ先 防災交通課交通係 ☎(48)1111 (内277)

- 特選一点、入選三点、小学生・中学生・高校生特別賞各一点
- 応募方法・記載事項
- はがき、電子メールに作品・氏名・性別・年齢・住所・電話番号・職業（小・中・高校生の場合は学校名、学年）を明記の上、応募先まで送付、送信してください。

- 応募締め切り日 二月七日(木)
- 応募・問い合わせ先
- 〒162-8668
- 東京都新宿区若松町19-1
- 総務省統計局国勢統計課
- 住宅・土地調査広報担当
- ☎03(5273)1005
- 電子メール yutakunoyogo@soumu.go.jp

お知らせ

土地区画整理事業の事業計画(変更案)を縦覧します

次のとおり事業計画(変更案)を縦覧します。当該事業計画について意見のある人は、二月五日(火)までに愛知県知事に意見書を提出することができます。

縦覧する計画

- ・知多都市計画事業阿久比宮津特定土地区画整理事業の事業計画(変更案)
- ・知多都市計画事業阿久比卯坂南部土地区画整理事業の事業計画(変更案)

縦覧期間 一月九日(水)～二十一日(火)の午前八時半～午後五時十五分

縦覧場所 役場建設環境課
問い合わせ先 建設環境課都市計画係
☎(48)1111(内287)

農家との交流会参加者を募集

「知多4Hクラブ連絡協議会」は、二十歳代を中心とした農業に携わる青年の集まりです。勉強会や農業を身近に感じてもらうためのイベントなどを行っています。

今回、同世代の女性を対象に、知多の農業や農業青年をPRする交流会を実施します。

イチゴ狩り、地元農産物を使ったバーベキュー、農畜産物が当たるピ

ンゴゲームを計画しています。

日時 一月二十日(日)午前十時半～午後三時半

場所 ショイフルファーム鵜の池(美浜町上野間)

参加費 千円

募集対象 十八歳～三十二歳くらいの独身女性

定員 二十人(先着順)

申込期限 一月十五日(火)

申し込み・問い合わせ先 知多農林水産事務所農業改良普及課(担当 森下)

☎(21)8111(内288)

上級救命講習・普通救命講習を開催

上級救命講習

上級救命講習とは、従来の救命講習に加え傷病者管理や副子固定、熱傷の手当て、搬送法を学ぶ講習です。

日時・場所・定員

二月二十四日(日)午前九時～午後六時・半田消防署・定員三十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部

半田消防署 ☎(21)1492

HP <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>

普通救命講習

胸骨圧迫(心臓マッサージ)、人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)の使い方などを習得する講習を行います。心肺蘇生法の内容が一部変わ

りました。

日時・場所・定員

▽二月二日(土)午前九時～正午・半田消防署東浦支署・定員二十人(先着順)

▽二月十五日(金)午後一時半～午後四時半・半田消防署成岩出張所・定員二十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部

東浦支署 ☎0562(83)0119

成岩出張所 ☎(24)01119

HP <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>

うつ病家族教室を開催

半田保健所では、うつ病の方がいる家族を対象に、教室を開催します。うつ病の知識や対応方法について学ぶことができる講演もあります。ご参加ください。

日時 一月二十五日(金)午後一時～午後三時半

場所 半田保健所四階大会議室

演題 「うつ病の知識と家族の対応について」

講師 医療法人一草会一ノ草病院精神科医 岡崎純弥氏

募集対象 半田保健所管内在住でうつ病を抱えている方の家族三十人(先着順)

申込期間 一月十五日(火)～二十三日(水)

申し込み・問い合わせ先 愛知県半田保健所健康支援課(こころの健康推進グループ) ☎(21)3340

労働講座を開催

企業の事業主、人事労務担当者、労働組合関係者、一般労働者を対象に「働きがいのある職場環境をサポート」をテーマにした労働講座を開催します。受講料は無料です。

受講申し込みは、ファックス・郵送・電子メールで受け付けます。定員は五十人で、申込期限は一月十八日(金)です。

日時 二月十三日(水)午後一時半～午後四時半

場所 愛知県知多総合庁舎三階大会議室(公共交通機関でお越しください。)

講座内容 △改正「労働者派遣法」について(愛知労働局需給調整事業第二課課長 山口晴久氏)

「就業規則を整備してトラブルの未然防止を」(Beeパートナーズ社労士事務所代表 吉岡規子氏)

申し込み・問い合わせ先 半田市出口町1-36

〒475-8501

愛知県知多県民センター産業労働課 ☎(21)8111

FAX (26)4529

電子メール chita@pref.aichi.jp

公共施設などの年始休業案内

(○印は平常業務 ×印は休み)

施設名 問い合わせ先	1月						
	1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)	5日 (土)	6日 (日)	7日 (月)
阿久比町役場 ☎48-1111	×	×	×	○	×	×	○
保健センター ☎48-1111	×	×	×	○	×	×	○
中央公民館(※1) ☎48-1111	×	×	×	×	○	○	○
町立図書館 ☎48-6231	×	×	×	×	○	○	×
子ども総合支援センター ☎49-2550	×	×	×	×	×	×	○
阿久比スポーツ村(※1) 草木グランド(※1) 白沢グランド(※1) 板山グランド(※1) ☎49-2500	×	×	×	×	○	○	○
ふれあいの森(※1) ☎48-8431	×	×	×	×	○	○	○
勤労福祉センター(※2) ☎48-6644	×	×	×	○	○	○	×
丸山公園(※2) (運動場・テニスコート・武道場) ☎48-6644	×	×	×	○	○	○	○
半田斎場 ☎27-8700	×	○	×	○	○	○	○
循環バス(アグビー号)	×	×	×	○	○	○	○

1月1日～3日と5日～6日の死亡届・出生届など戸籍の届出、火葬の利用手続きは、役場宿直室で受け付けます。

(※1)の施設は1月5日(土)午前8時30分まで、

(※2)の施設は1月4日(金)午前8時30分まで、

予約システムからの予約を休止します。(空き状況の確認はできます。)

東日本大震災義援金 ありがとう(ご)ございます

阿久比町に寄せられた東日本大震災に対する義援金は、平成二十四年十一月三十日現在で九百七十二万四千四百円になりました。内訳は、窓口での受け付けが八百八十四万五千六百八十九円、義援金箱が八十七万四

千四百五十一円です。寄せられた義援金は、日本赤十字社愛知県支部を通じて被災地へ送られます。

引き続き義援金の受け付けを行います。皆さんの協力をお願いします。

問い合わせ先 住民福祉課社会福祉係
☎(48)1111 (内346)

文化祭俳句大会作品

兼題「文化祭」「自由」
宣誓の手に秋光の集まれり
初時雨ロビーに移す野点席
鉢菊の展示のあとの値引き札
乾きたる木魚の響き今朝の冬
盆栽の錦木ひときわ紅葉し
残菊といふも見事な仕立振り
冷やかや撫でて黄瀬戸の釉だまり

岡戸 隆明
溝口スミ子
下内のぶゆき
安井まこと
北中 祥子
菅原ルリ子
新美 京子

飛石は和服の歩幅石落の花
雑用の多き日まずは布団干す
白菊の夕べの彩になりけり
名残花庭に紅さす今朝の冬
菊日和小布施に誘う北斎館
菊花展終えし大輪抱き帰る
臆たけて闇にも白き貴船菊

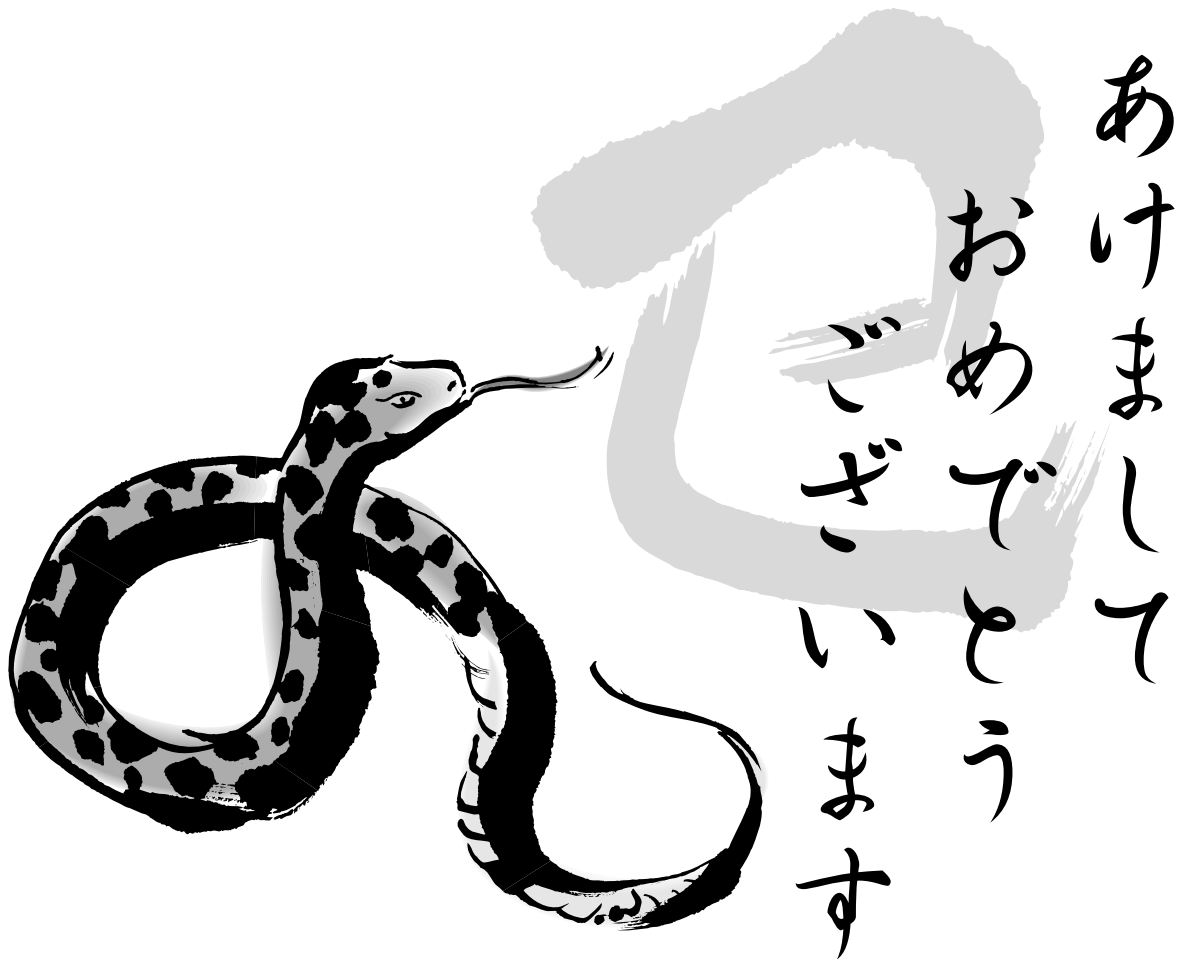
前田 泰男
深谷 靖
新美 弘子
井本 庄一
名倉 英二
森 禎史
相澤あき子

阿久比町短歌の会

神渡る如くに焼ゆる明神岳これより穂高に一日始まる
大空を横切り行きし飛行機の白き尾を引き雲中に消ゆ
老妻と中秋の名月仰ぎつつ童のごとく兔を指さす
卒業後半世紀振りの再会に杖をつきつき故里へ行く
まんまるに月の膨らむ竹取の語りべ想う見上げる大空
吾が短歌を生きの証とよみつぎて歩み来れり夫逝きてより

菊薫るわが阿久比野の文化祭入賞菊のラベルが光る
和やかに月見の会の進みゆく十三夜の月登りきたりぬ
四方の海皆兄弟と思いに離れ小島をさざ波騒がし
訪いくれし友の声が嬉しくてただそわそわと近況告ぐる
雲一つなき空の下連れ立ちて公園を散歩すお八つの時間に
谷川の水面を揺らす時雨風峯より里に冬は下りつつ

岡本 育与
桃井 昌子
山口 昇
橋立 智子
加藤かずみ
竹内 久恵
大村寿美子
渡邊百合子
山本ささ子
勝 暁子
佐野 雄造
三留 享



2013年も町の明るい話題や情報を満載して、親しみある読みやすい「広報あぐい」を作っていきたいと思えます。皆さんご愛読ください。

ホームページや役場庁舎東側に設置してある電光掲示板からも随時迅速に情報発信しますので、こちらもご覧ください。

今年もどうぞよろしくお願ひします。

広報編集スタッフ一同

阿久比町
マスコットキャラクター



阿久比町民憲章

- わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。
- ◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
 - ◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
 - ◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
 - ◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
 - ◎ボランティア活動に、すすんで参加します。



人口と世帯



世帯数	9,467 (+11)	11月中の異動	
人口	26,892人(+14)	出生	29 転入
男	13,278人(+1)	死亡	17 転出
女	13,614人(+13)		

()は前月との増減数 平成24年12月1日現在



■発行/阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50 ☎0569(48)1111) 編集/総務部政策協働課

■阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp/>
資源を大切に!この用紙は再生紙を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。

■問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター☎(48)1111